

資料提供先
・岡山県記者クラブ

みんなでいっしょに旭川を調べてみよう！！

～「旭川流域一斉水質調査2007」の実施～

旭川流域の河川の水質実態を把握し、旭川流域全体が連携して水質保全に取り組むため、「旭川流域一斉水質調査」を、下記のとおり実施します。

この調査は、旭川流域ネットワーク（AR- NET）¹が主催し、旭川流域連絡協議会²が共催して行うもので、今年で9回目（平成11年からスタート）となります。

調査方法は、各地域の方々に調査協力を呼びかけ、同時刻（午前10時頃）の旭川の本川や支流の水質などの調査を行いとりまとめています。（各地域で協力していただける方を募集しております。お問い合わせは、旭川流域ネットワークまで）

また、旭川流域連絡協議会、国土交通省岡山河川事務所は、水質試験用の試薬等の提供を行って、協力します。全国でも「全国一斉水質調査」³（平成19年6月3日）が実施され、調査結果等のとりまとめ等、連携して実施しています。

記

1. 実施場所：旭川流域の8市町村。調査地点は、本川、支川合わせて117地点（予定）。
2. 実施日：平成19年6月10日（日）、小雨決行
3. 調査内容：気温、水温、水素イオン濃度（pH）、化学的酸素要求量（COD）、亜硝酸体窒素（NO₂-N）、調査地点付近の不法投棄調査。

- 1 旭川流域ネットワーク（AR- NET）：「ふるさとの川とともに生きる」を活動テーマに、流域という視点で、自然と人との共生する健全な環境を、次代の子供達によりよい姿で引き渡すための活動を行っており、旭川流域内の約90の市民団体が構成されている。
- 2 旭川流域連絡協議会：旭川流域内の交流、連携と旭川流域に関する情報発信を行うことにより、よりよい川づくり、地域づくりを推進することを目的に、旭川流域内の市町村、岡山県、国土交通省岡山河川事務所が構成されている。
- 3 全国一斉水質調査：近年、河川をはじめとする身近な水環境に関する市民の意識が高まっています。また、全国各地で多くの市民団体・学校が身近な河川で水質調査を行っています。国土交通省は2004年から、市民団体と連携して実施しています。

お問い合わせ先

旭川流域ネットワーク
代表世話人 池田 満之

TEL (090) 1013-0778

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

TEL (086) 223-5101 (代)

URL <http://www.okakawa-mlit.go.jp>

副 所 長 植田 光明 (内線 205)

調査設計課長 上橋 昇 (内線 351)

参考：2006（平成18年）調査実施結果

調査地点図

旭川流域一斉水質調査2006

日時：2006年6月4日(日)午前10時

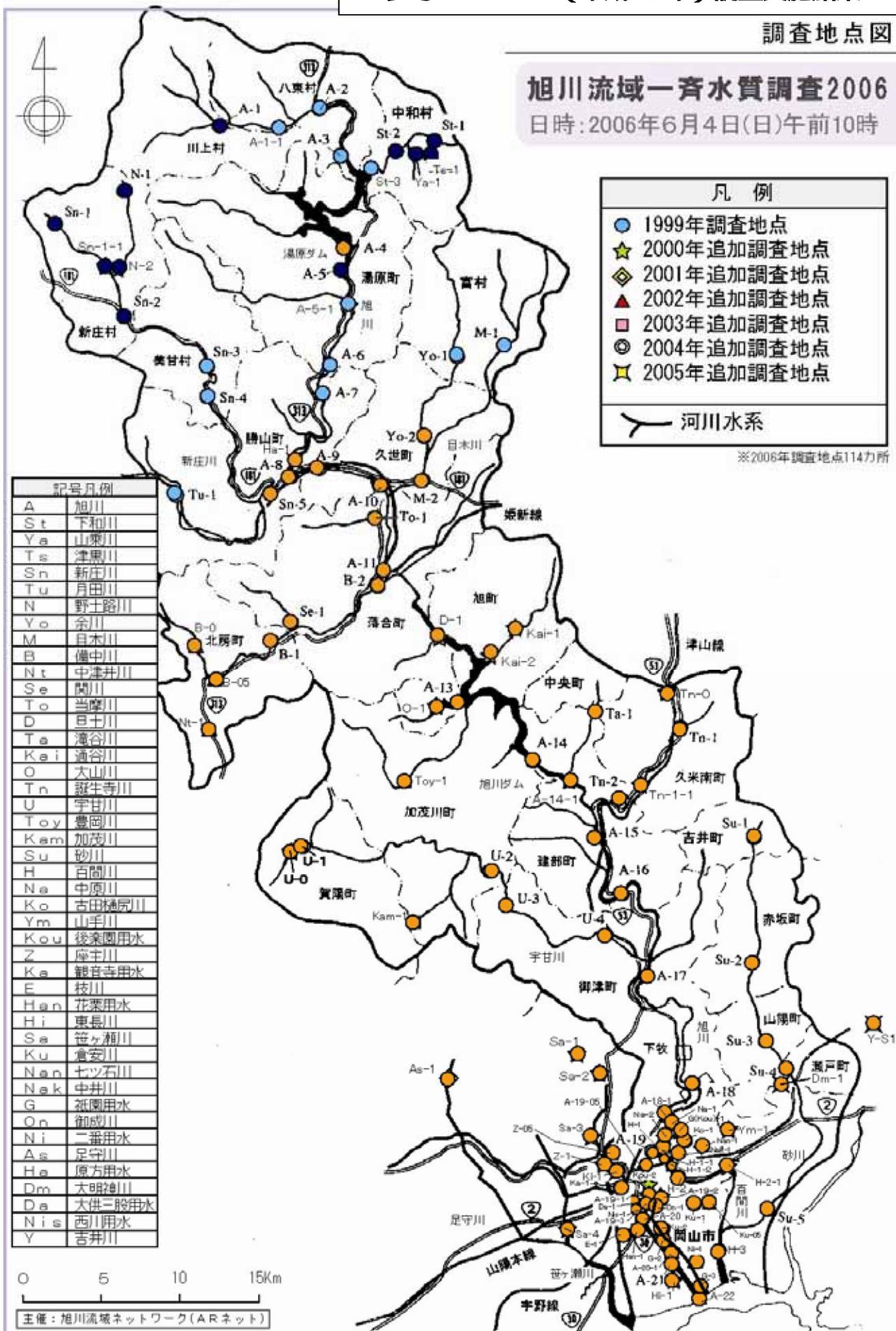
凡例	
●	1999年調査地点
☆	2000年追加調査地点
◇	2001年追加調査地点
▲	2002年追加調査地点
■	2003年追加調査地点
◎	2004年追加調査地点
✧	2005年追加調査地点
— 河川水系	

※2006年調査地点114カ所

記号凡例	
A	旭川
St	下和川
Ya	山梨川
Ts	津黒川
Sn	新庄川
Tu	月田川
N	野士路川
Yo	余川
M	自木川
B	備中川
Nt	中津井川
Se	関川
To	当摩川
D	巨十川
Te	滝谷川
Kai	通谷川
O	太山川
Tn	誕生寺川
U	宇甘川
Toy	豊岡川
Kam	加茂川
Su	砂川
H	百間川
Na	中原川
Ko	古田橋原川
Ym	山手川
Kou	後楽園用水
Z	摩幸川
Ke	観音寺用水
E	枝川
Han	花菱用水
Hi	東長川
Se	笹ヶ瀬川
Ku	倉安川
Nen	七ツ石川
Nak	中井川
G	笹園用水
On	御成川
Ni	二番用水
As	足守川
He	原方用水
Dm	大明神川
Da	大俣三股用水
Nis	西川用水
Y	吉井川

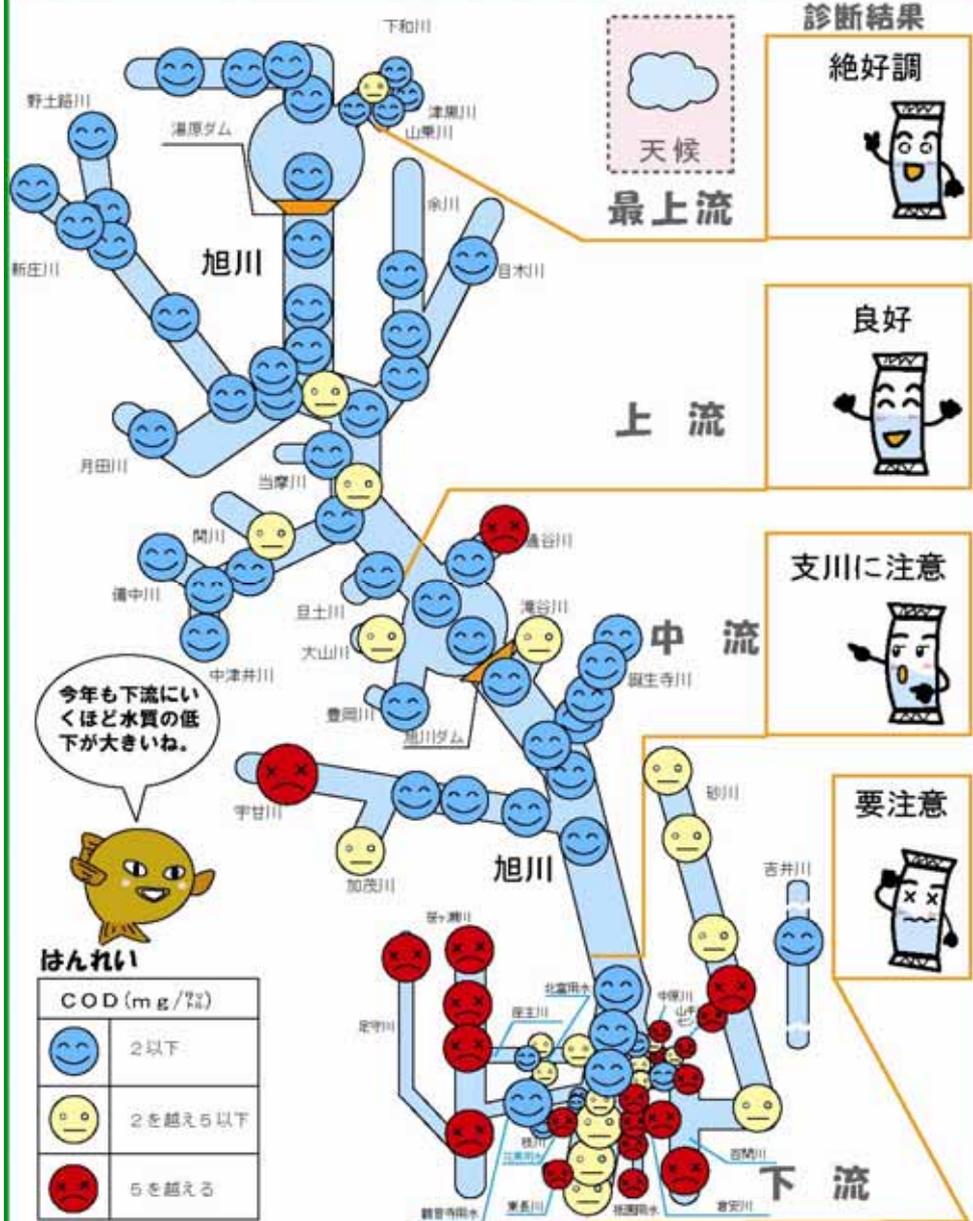
0 5 10 15Km

主催：旭川流域ネットワーク(ARネット)



旭川のけんこうしんだん2006

COD



今年も下流にいくほど水質の低下が大きいね。

はんれい

COD (mg/ℓ)	
	2以下
	2を越え5以下
	5を越える

旭川流域ネットワーク

<2006年6月4日(日)10時 流域内114箇所一斉水質調査273人参加実施結果より>
 ※共催/試業提供:旭川流域連絡協議会 結果回収協力:国土交通省阿山河川事務所



【水質調査状況】



【調査結果取りまとめ状況】

調査結果の概要

昨年度と同様に47都道府県で調査が実施され、各地で独自のマップが作成されています

昨年度と同様に47都道府県で調査が実施され、佐渡島、屋久島、石垣島、西表島などからの参加もあり、全国各地に調査地点があります。

また、各地で本調査結果を用いて、自分たちの身近な河川などで独自のマップづくりがなされており、事務局にもその成果が報告されています。

調査実施日・調査地点数

全国統一日に実施された調査

調査日 2006年6月4日(日)
参加団体数 587団体（個人）
調査地点数 3,044 地点

海外で実施された調査

中国 調査地点数 3 地点

国内で実施された全ての調査

期間 2006年5月4日～7月23日まで
参加団体数 944団体 [参考：第1回 531団体、第2回 1,000団体]
調査地点総数 4,923地点 [参考：第1回 2,545地点、第2回 5,018地点]

調査のまとめ

市民と行政の連携で始まった、この「身近な水環境の全国一斉調査」も3年目を迎え、参加者募集から調査の実施、参加者からの調査結果の回収及び整理とりまとめ、調査結果の公表といった一斉調査の一連の作業内容が概ね確定してきたところです。

調査結果については、昨年度とほぼ同数の約5,000地点で調査が実施され、8,400人を超える人々が調査に参加しています。今後も、この調査の目的と意義にもあるように『水環境に関心を持つきっかけづくり』としての役割を果たしていきたいと思えます。

また、今年度は調査票へのCOD測定値の記入を記述方式からチェック方式に変更したためCOD調査結果の不明瞭な記入が少なくなり、より精度の高い調査結果の取りまとめにつながりました。

調査結果を取りまとめた、全国マップ及び地方ごとの広域マップは全国水環境マップ実行委員会が作成していますが、各流域単位や河川で参加団体独自のマップづくりやデータ活用事例が報告されており、今後も全国各地で独自のマップづくりが行なわれていくことが期待されます。

さらに本年4月には、参加者に対する一斉調査の情報提供及び意見交換の場としての活用を目的とした本調査専用のホームページの開設を行っています。HPではマニュアル類、調査票などがダウンロードできるようになっていますので、是非ご利用ください。

【HPアドレス】 <http://www.japan-mizumap.org>

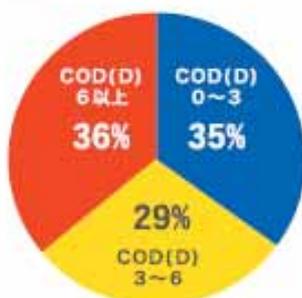
2006

全国水環境マップ

第3回 身近な水環境の全国一斉調査結果

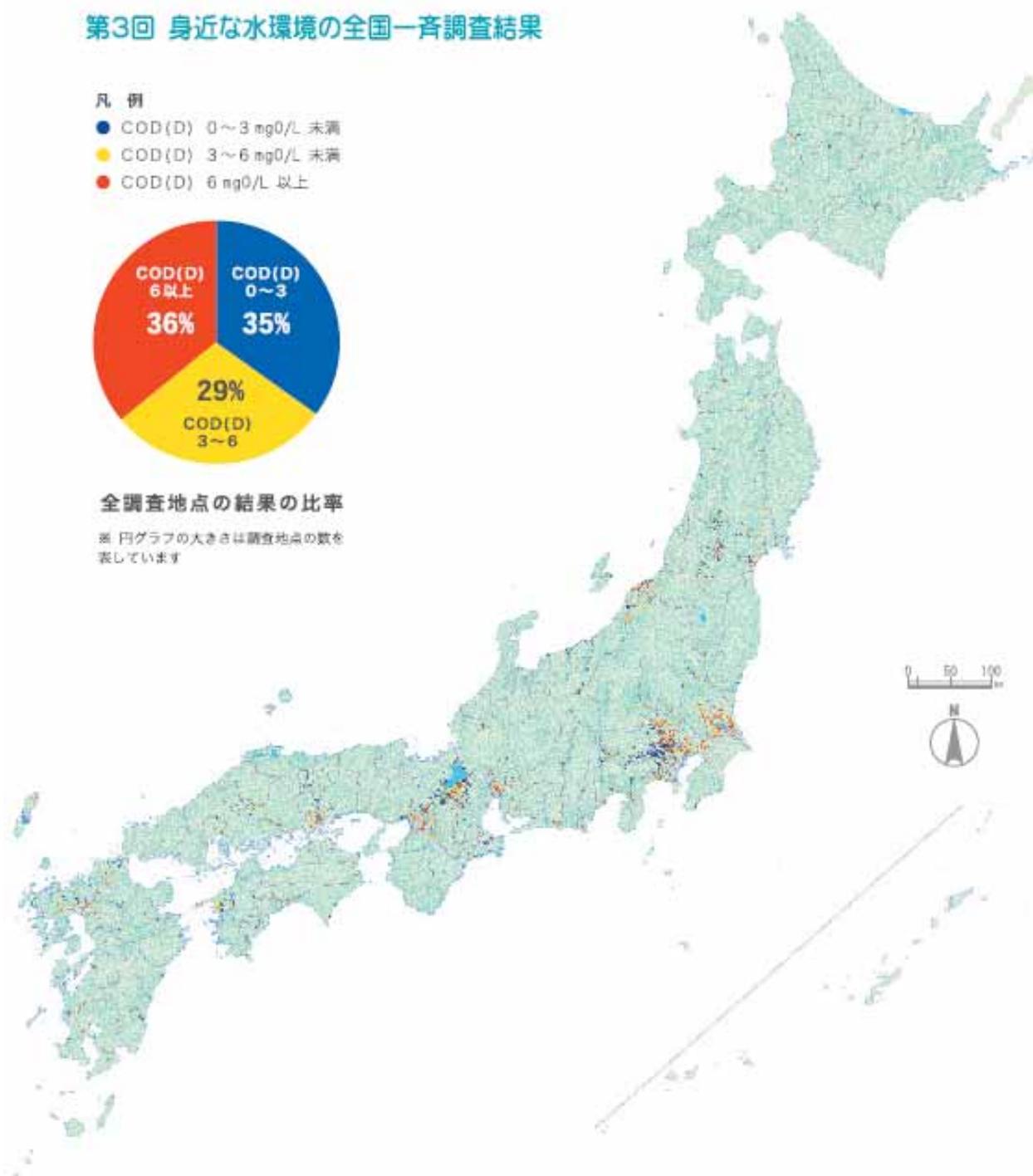
凡例

- COD(D) 0～3 mgO/L 未満
- COD(D) 3～6 mgO/L 未満
- COD(D) 6 mgO/L 以上



全調査地点の結果の比率

※ 円グラフの大きさは調査地点の数を表しています



※ このマップは、平成18年6月4日を中心に全国の市民団体等が実施した簡易な調査に基づくものです。調査地点の選定も調査主体が独自に行っており、また調査も一度限りですので、このマップのデータがその河川の水質を必ずしも代表するものではありません。